

賑わい創出事業の 取り組み内容に市民の批判大



いとうとしお
伊能 敏雄 議員

Q 事業で得た成果をどう活かすか。

A 事業を通じて、得られた観光客の反応や評価を基に新たなターゲット層の開拓や広報戦略の改善が可能と考えます。地元住民や企業などと連携強化を図り、継続的にイベント等を実施することにより観光地としての魅力を高めるとともに、地域の観光を持続的に発展させる基盤づくりを進めます。

A 当初、仮設の照明は、想定外の費用がかさんだことにより撤去費用が不足し、対応を検討した結果、撤去は市が約130万円の費用で実施することになりました。

意見 観光庁のインバウンド客取り込み事業だが、地元の一部関係者による密室性が高かった。リース物件の撤去費を市が払うのは問題だ。

Q 実施団体との間に問題は無かったか。

A 市を実施主体とし、体験コンテンツ、プロモーションなどの業務を地元企業を中心として業務委託契約を締結し実施しました。受託団体は、市が作成した仕様書に基づき業務を履行しますので、大きな問題は生じなかったと認識しています。

Q 第3次香取市生涯スポーツ推進計画の特色は。

A 市の地域特性を活かした水上スポーツの推進を図ることを柱の一つとし、水上スポーツに恵まれた環境をスポーツツーリズムの視点からも広くPRし、推進していくことを掲げています。

Q 護岸擬木柵に取り付けた行燈はリースによる仮設のようですが、常設にすると知った市民から異論が出た。その後、撤去に至った経緯と撤去に掛かる費用と負担者は誰か。

Q やってみたいスポーツ上位にエアライフルがある。東部五市体育大会競技のエアライフルについて、本市には競技団体はないが、競技団体を設立する際に市からの支援等あるか。

伊藤市長の裏金・脱税疑惑について説明と対応を



かとう ゆうた
加藤 裕太 議員

Q 市長選挙があった令和4年の伊藤友則後援会の政治資金収支報告書の支出が0円となっている。ビラの作成や折込みの費用は記載しなかったのか。

A もう一つの団体もあり、支払いが翌年になってしまったこともありましたので、随時載せていきます。

A 存じ上げております。

Q 罰則があるという認識があつて載せなかったのか。

A その認識はありますが、当時のことをよく調査したいと思います。

Q 個人からの寄附による収入も0円となっている。寄附を受けたか覚えていないとの答弁だが、いただいた方の顔やその時の状況は覚えていないのか。

A そのときの情報や履歴について精査したいと思いますが、親戚筋や友人からの寄附は覚えていません。

Q 報告書に載せなければいけなかった寄附を「裏金」にしてしまう事になる。その認識は。

A そのような認識ではなく、その当時、しっかりと対応していなかったと思われるので、精査したいと思います。

Q 親戚でも寄附があれば報告書に記載する必要はあるが、認識は。

A そのとおりだと思います。

Q 収入を報告書に記載しない場合、確定申告等をしなければ「脱税」になる可能性もある。確定申告には載せたのか。

A 確定申告には対応していなかった可能性もありますので、これも精査したいと思います。

Q 不記載に罰則があるのはご存知か。

意見 不記載は刑罰や公民権停止の可能性も

A 新たな競技団体設立への支援制度は、現在のところありません。

意見 提案していたスケートボード場が市の空き施設を活用し、民間により日々練習施設ができることは一歩前進。

私の佐原市時代からの取り組み

Q 仁井川河川改修の進捗状況は。

A 令和5年に地権者と用地協力の合意が得られたことから、用地取得に向け手続を進め、現在、法務局と登記申請の協議を進めています。

空港との共生策

Q 地域未来投資促進法の特例による開発計画の進捗は。

A 重点促進区域の設定を見据え令和5年9月に補正予算を計上し、候補地を調査しています。

ある重大な違反。市長は説明責任を果たす必要がある。